



めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.3
令和5年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府内)
TEL (06)6946-5390
FAX (06)6946-5391

維新府議団代表 大阪府議会議員 **森田彩音**の府政報告

府議会教育常任委員会で質問しました!



吉村洋文知事

令和5年度、森田彩音は府議会の教育常任委員会委員に選任されました。9月定例会で開会された教育常任委員会で質問に立ち、大阪における教育行政の諸課題について関係理事者と議論を交わしました。その概要をご報告いたします。激しく変化する社会の中で、大阪の子どもたちが、力強く生き抜き、次世代を担う自立した大人となるよう、吉村知事とともに諸課題に取り組んでまいります。



森田彩音

府政に関する相談やお問合せは 〒537-0012 大阪市東成区大今里4-27-28 TEL/FAX (06) 4259-3006
森田 彩音 事務所 MAIL morita.ayane.ishin@gmail.com

森田彩音の委員会質問

教育常任委員会 (令和5年10月11日)

電動キックボード等に係る安全教育

Q 16歳以上であれば、免許なしで運転することができる電動キックボード等に係る安全教育について伺います。

A 教職員対象の交通安全の研修会や、各学校の交通安全教室において、電動キックボード等の理解促進を図っている。引き続き、子どもたちが正しく理解し、安全に利用することができるよう、取組みを進めます。



要望

手軽な乗物に見えますが、ナンバープレートが付いており、自賠責保険の加入が必要など、自転車とは違うルールがあります。新しい乗物に対する知識や正しい使い方を、きちんと教えていただくようお願いいたします。

自転車乗用時のヘルメット着用状況

Q 令和5年4月から、全年齢で自転車乗用時のヘルメット着用が努力義務となりました。府立学校の自転車通学で、効果的に安全指導を進めるため、まずは着用状況の把握が必要ではないでしょうか。

A 児童生徒のヘルメット着用状況を把握しながら、着用の推進に向けた交通安全教育に努めます。



要望

自転車の安全利用において、着用率の向上は大きな課題です。各学校の着用状況に応じて表彰するなど、着用率向上への積極的な働きかけの検討をお願いいたします。

薬物乱用防止教育

Q 若年層における大麻の蔓延が深刻になっています。学校における薬物乱用防止のための取組みについて伺います。

A 大麻の有害性や違法性等の正しい知識とともに、誘われた際の断り方を子どもたちに身に付けさせる指導方法を盛り込んだ「指導参考事例集」を作成し、府内の各学校へ配付しています。今後、その活用が進むよう働きかけてまいります。

英語のスピーキング能力の向上

Q 子どもたちが、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることが喫緊の課題となっています。学校の授業を通して、子どもたちが「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4つの技能をバランスよく身に付けることが必要ですが、特に、「話す力」の育成には課題があると感じています。子どもたちの英語力向上に向けた取組みについて伺います。

A 英語4技能の学習到達基準を10段階で表す、「大阪版CAN-DOリスト」を作成し、小学生から高校生まで全ての子どもたちがそれぞれの学習状況を把握し、英語の学習に取り組むことができるようにしています。「話す力」の育成に向けては、新たに英語学習アプリのパッケージ開発を進めており、今年度、府内のモデル校にアプリを導入し、その有用性等に関する調査研究をしています。また、今年8月から、全ての全日制高校にネイティブ講師を週5日配置することとし、授業はもとより学校行事等様々な場面において、生徒がネイティブスピーカーとコミュニケーションを図る機会の充実に努めています。

要望

英語学習アプリやネイティブ講師を効果的に活用することで、即興的にやり取りを行うディベート力の土台をしっかりと作っていただきたいと思っております。引き続き積極的に英語教育への取組みを進めていただくようお願いいたします。





万博会場建設費増額を巡り代表質問!

万博協会、経済産業省、吉村知事と論戦

坂上敏也議員

議員全員協議会 (11月10日)

府議会では25年ぶりに開催

吉村洋文知事

維新府議団代表質問 坂上敏也総務会長

- Q** 前回増額時、国に対して、1850億円から増額する場合は1/3ルールに拘らず、国の責任において対応すべきと意見書を提出。今回500億円の増額となったが、国は、この府議会の意見書をどう受け止めているのか。また、増額は今回で最後となるのか。
- A** 国>増額は想定外の物価上昇によるもので、やむを得ないものであった。また、今回、予備費も計上していることから、更なる増額は無い。
- Q** この間、府議会が、会場建設費の増額について再三、指摘してきた中で、一貫して博覧会協会は「1850億円に収めるよう努める」との答弁であった。それにもかかわらず、なぜこのような500億円もの増額が出てきたのか。
- A** 協会>今まで、様々な節減努力を行ってきた。しかしながら、資材、労務費が高騰し、その影響からの増額である。
- Q** 会場建設費の増額などで万博開催にネガティブな報道があるが、きちんと万博開催がもたらす効果を国民に発信し、理解を求めていくべきと考える。知事は日頃から「大阪・関西万博を一過性のイベントとするのではなく、その後の経済成長の起爆剤としていく」と言っているが、具体的にどのように取り組んでいるのか。
- A** 知事>万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来への希望を世界に示す万博として是非とも成功させ、その成果を成長につなげることが私の強い思い。万博後は、再生医療の産業化や、空飛ぶクルマの日常的な利用、再生可能エネルギーの実用化によるカーボンニュートラルの先導など、新技術の社会実装を強力に進めることで、新しい産業が創出され、人材や企業がさらに集積する好循環につなげる。こうした取り組みをオール大阪で進め、大阪の成長につなげていく。
- 要望** 万一これ以上の増額があるなら、国の責任において対応を。また、今後の執行状況発信にあたっては、より透明性や客観性を確保し、国民の理解が進むよう分かり易い情報発信をお願いする。

万博推進強化の意見書案を可決 11月20日 国に提出しました!

- 【意見書の名称】**
我が国の発展に資する大阪・関西万博の推進強化を求める意見書
- 【意見書の概要】**
大阪・関西万博を単なるイベントとして成功させるだけではなく、万博をインパクトに大阪・関西、ひいては日本経済の成長・発展に確実に結びつけていくためにも、開催主体である国においては、主導的な役割を果たしつつ、以下について適切に対応されるよう強く要請する。
- 1 万博の会場建設費については、新たに予備費を計上していることにも鑑み、今回の増額を最後とすること。
 - 2 徹底したコスト管理とコスト縮減を可能な限り追求することに加え、定期的に会場建設費の執行状況を国民に公表することを契機に、万博に関する様々な情報の見える化を更に進めること。
 - 3 万博成功の鍵となる「未来社会の実験」の実現に取り組むとともに、万博のメリットを全国で享受するためにも、機運醸成や国内外との交流拡大、子どもの参画促進など、地域の特性に応じた地方の取組みを強力に支援すること。
 - 4 万博で実証・実装された最先端技術やサービスなどが、万博のレガシーとして人類共通の課題解決や日本の経済的・技術的発展に資するものとなるよう精力的に取り組むこと。
 - 5 来場者の安全・安心の確保は最優先で対応されるべきものであり、必要な警備体制の構築などについては、国において万全の措置を講じること。
 - 6 万博に対する非常に厳しい声があることから、万博開催の意義や会場で体験できるコンテンツ、経済効果などについて、あらゆる機会や広報媒体を活用して発信することで、国民の更なる理解促進につなげること。



物価高騰支援の補正予算案 62億円 を可決! 府議会11月定例会 (12月12日)

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者への支援に緊急に必要な経費を追加

福祉施設、医療機関、私立学校等への支援 (53億円)

畜産農家への支援 (3,500万円)

トラック運送事業者への支援 (6億1,600万円)

公共交通事業者への支援 (2億円)

2025年大阪・関西万博の3施設 (11月29日 2025年日本国際博覧会協会)

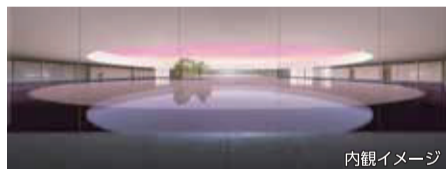
迎賓館・大催事場・小催事場のイメージ図を公表

迎賓館について

世界各国から国王、大統領、首相などの賓客をお迎えし、歓迎、接遇するための施設。自然光、自然通風、自然素材を使用し、環境性、快適性を両立するとともに賓客に日本らしいおもてなしと感動を感じていただく空間を創造します。



外観イメージ



内観イメージ

EXPOホール (大催事場) について

開閉会式、音楽、演劇、芸能、フォーラム、有料催事等を開催。座席数：約2,000席(車いす席含む)。黄金に輝く円形の大屋根と、荒々しい表情の壁面が大地から立ちあがる力強い姿によって、1970大阪万博の「太陽の塔」を連想させる、会場全体のシンボルをつくります。



外観イメージ



内観イメージ

EXPOナショナルデーホール (小催事場) について

以下の4つの施設により構成。

- 約500席(車いす席含む)のメインステージ
- 約280席のラウンジ&ダイニング
- 日本伝統文化を展示する展示場
- 能に対応した舞台小ステージ



外観イメージ



内観イメージ

提供：2025年日本国際博覧会協会

“大阪がめざすべきライドシェア”導入へ制度案

2025年大阪・関西万博期間を含み期間限定府内全域

大阪府と大阪市は、全国的なタクシー不足の中、2025年大阪・関西万博を見据え、府民・市民や観光客等の移動手段を確保するため、ライドシェアの導入について、国に提案する制度案をまとめました。

制度案の概要

- 府内の全域を対象に、24時間運行するとしてうえで、実施主体について、タクシー会社だけでなく、同等の運行管理体制を確保できる事業者の新規参入を認める。
- 雇用形態は、業務委託も可能とする一方、安全性を確保するため、事業主体が運送サービス全般に責任を持ってドライバーと契約することで、役割や責任の分担を明確化する。
- 需要と供給に応じて運賃が変動する「ダイナミックプライシング」と呼ばれる仕組みを導入する など

大阪府と大阪市は、国と協議を行い制度案の実現をめざします。



吉村洋文知事：大阪のライドシェアのあるべき姿を国に伝え、しっかりと協議を続けて実現したい。

タクシーとライドシェアの主な特徴

	タクシー	ライドシェア
運転手	プロ(2種免許)	一般人(1種免許)
車両	事業用として登録(緑色ナンバープレート等)	自家用として登録(白色ナンバープレート等)
利用法	空車を見つけて乗車。アプリや電話で呼ぶ。	アプリで予約
運賃	走った距離などに応じて確定。一部は事前確定。	事前確定
運送責任	タクシー会社	実施主体

ライドシェアのイメージ

